

令和4年度 事業報告

令和4年度は、地球温暖化防止活動推進センターに関する事業や自主事業について、新型コロナの感染拡大の状況を見極めつつ、計画を弾力的に見直しながら取り組みました。

センターについては、その役割を果たすため、温暖化対策に関する情報の発信や提供に努めるとともに、地球温暖化防止活動推進員等のスキルアップのための取り組みや活動の支援を行いました。さらに子どもたちへの環境教育、幅広い世代を対象にした環境学習やセミナーなどを通じて普及啓発に取り組みました。

また、企業の脱炭素化への取り組みを支援するため、新たにセミナーを開催するなどの取り組みを行いました。

さらに、自治体との連携した取り組みを進める観点から、湯沢市から事業を受託するとともに、他の市町村とも連絡を密にして事業を進めました。

一方、自主事業については、持続可能な地域を目指して、秋田の環境を広く捉えたシンポジウムを開催するなどの取り組みを行いました。

1 自主事業

(1) 環境活動団体等との連携事業

地域の環境活動を進展させるため、プラットフォームづくりを目指して、県及びエコマイスター協議会（県北、県央、県南）の皆様と今後の課題などについて意見交換を行いました。

これらを踏まえ、課題を乗り越えながら活動を進めることを確認しました。

(2) 環境をテーマにしたシンポジウムの開催

秋田の環境がどう変わりつつあるのかについて、環境分野の専門家による基調講演とパネルディスカッションを行いました。

○開催日：令和4年7月30日（土）

○開催会場：秋田市にぎわい交流館 AU

○参加者：98名（会場68名、オンライン30名）

○内容：

▷基調講演 「秋田の環境を捉える視点と課題について」

秋田大学 名誉教授 菅原拓男氏

▷パネルディスカッション

テーマ：「変わりつつある秋田の環境とこれからの考える」

- ・コーディネーター 小松嘉和氏（秋田魁新報社 政治経済部長）
- ・アドバイザー 菅原拓男氏（秋田大学 名誉教授）
- ・パネリスト
 - （森 林）仙道一吉氏（北日本索道（株）専務取締役）
 - （野生動物）近藤麻実氏（秋田県自然保護課 主任）
 - （湖沼等の水質）片野 登氏（秋田県立大学 名誉教授）
 - （外来生物）杉山秀樹氏（NPO 法人秋田水生生物保全協会 理事長）
 - （海の生物）中林信康氏（秋田県水産振興センター 総務企画室長）

（3）環境保全活動に関する講師や専門家の紹介

フォーラムのホームページで「環境の達人」と「環境カウンセラー」に関する情報を提供しました。

（4）環境マイスター研修会

平成24年度から（社）日本自動車販売協会連合会秋田県支部、NPO 法人環境市民（京都市）及び当法人の三者共催で実施している自動車販売員を対象とした「環境マイスター」認定研修会については、令和4年度はコロナ禍のため中止となりました。

（5）あきたエコ&リサイクルフェスティバルへの参加

10月8日から二日間、秋田拠点センターALVE きらめき広場で3年ぶりに開催された「第20回あきたエコ&リサイクルフェスティバル」に出展し、環境紙芝居の展示と動画上映を行いました。

（6）あきた環境学習応援隊としての活動

県内の環境学習機会の充実に資するため、県の「あきた環境学習応援隊」に登録していますが、令和4年度は要請がなく活動実績はありませんでした。

（7）県SDGsパートナーへの登録に基づく取組み

県が令和3年度に設けたSDGsパートナー登録制度に基づき登録しており、目標の達成に向けて取組みを進めました。

（8）環境あきた県民フォーラム通信の発行

フォーラムの活動や環境に関する情報などを「フォーラム通信」として発行しました。（令和5年1月）

2 総会、理事会の開催状況

| 年 月 日 | 開催場所 | 内 容 |
|---------------------|------|---|
| 第1回 理事会 5月20日(金) | 林泉会館 | (決議事項) ○総会に付議する議案 ・令和3年度事業報告及び決算報告 ・令和4年度事業計画(案)及び活動予算(案) ・借入金の最高限度額 ・理事長への委任事項 ・役員改選 (報告事項) ○令和4年度自主事業(シンポジウム) ○企業の脱炭素化への取組み支援 |
| 通常総会 5月28日(土) | 遊学舎 | (総会) ○議案の審議 (記念講演) ○地熱発電の現状と課題 |
| 第2回 理事会 7月8日(金) | 林泉会館 | (決議事項) なし (協議事項) ○理事の役割分担 ○令和4年度事業計画 (報告事項) ○シンポジウムの開催 ○企業の脱炭素化への取組み支援 ○令和4年度環境あきたエコ活動支援助成事業 ○令和4年度環境あきた県民塾の開催内容 |
| 第3回 理事会 1月11日(水) | 林泉会館 | (決議事項) ○旅費規程の一部改正 ○出張等における個人等所有車の使用に関する 規程(内規)の一部改正 (報告事項) ○自主事業 ・「変わりつつある秋田の環境とこれからを考 える」シンポジウムの開催 ・第20回あきたエコ&リサイクルフェス ティバルへの参加 |

| | | |
|---|------|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ○地球温暖化防止活動推進センターに係る委託・補助事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「プラスチックごみと私たちの暮らし」セミナーの開催 ・「企業の脱炭素化につながる儲かる省エネ」セミナーの開催 ・環境アドバイザーの活動状況 ○環境あきたエコ活動支援助成金事業 ○秋田県認定リサイクル製品展示・PR 事業 ○湯沢市からの受託事業と同市との連携事業 ○環境家計簿普及アドバイザーの委嘱 ○令和4年度の会員の新規加入状況 |
| <p style="text-align: center;">第4回 理事会 3月24日（金）</p> | 林泉会館 | <p>（決議事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○給与規程の一部改正 <p>（報告事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「プラスチックごみと私たちの暮らし」セミナーのアンケート結果 ○環境あきたエコ活動支援助成金事業の事業報告会 ○秋田県認定リサイクル製品展示・PR事業 ○令和4年度における自治体と連携した事業 ○自治体と連携した事業の考え方 ○令和5年度の総会 <p>（意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度の自主事業（シンポジウム、セミナー） |

3 地域センター強化支援事業（県委託事業）

県指定の地球温暖化防止活動推進センターとして、広く県民の理解を深めるための取組みを進めるとともに、防止活動の促進役を担う人材育成などに務めました。

（1）環境教育・地球温暖化防止活動の拠点の運営

県民や民間団体等の行う地球温暖化防止活動や環境の保全に向けた取組みの拠点としての役割を果たすため、センターの運営に資する次の業務を

行いました。

①地球温暖化防止活動推進センター事業全般の企画・運営

- ・企画・運營業務として企画運営会議を4回開催
- ・ホームページの管理運営 等

②普及啓発業務

- ・ホームページなど通しての情報の発信・提供
(令和4年度のホームページアクセス件数：28,592件)
- ・普及啓発パンフレットのデータ更新のための情報収集
- ・地球温暖化防止に関する問い合わせや相談等への対応
- ・各地のエコイベントへの出展
 - ▷7月……………大館市エコフェア
 - ▷8月……………エコライフフェスタ(横手市)
 - ▷10月………あきたエコ&リサイクルフェスティバル(秋田市)

③環境学習支援業務

- ・秋田地域振興局等と連携し、同管内の3小学校(潟上市、男鹿市、八郎潟町)で環境学習を実施

④地球温暖化に関するセミナーの開催

普及啓発の一環としてプラスチックを取り上げ、「プラスチックごみと私たちの暮らし」をテーマにしたセミナーを開催

○開催日：令和4年12月17日(土)

○会 場：県生涯学習センター

○参加者：55名(会場43名、オンライン12名)

○内 容：

▷基調講演

「プラスチック資源循環と持続可能な社会の実現に向けて」

東北大学大学院環境科学研究科 准教授 齋藤優子氏

▷事例紹介

I 暮らしの分野

a 「スーパーマーケットにおけるプラごみの削減とリサイクル」
(株)伊徳 総務部長 佐藤長之氏

b 「地域住民と連携した商店街のプラごみ削減への取組み」(映像)
東京都立川市羽衣商店街連合会初代女性部会長 池谷和子氏

II 行政の分野

「プラごみの分別収集の方向性」

秋田市環境部環境総務課 課長 村上義紀氏

Ⅲ リサイクルの分野

「プラごみのリサイクルの現状と用途」

(株) 湯沢クリーンセンター 代表取締役 安藤誠一郎氏

⑤一般向け省エネ講座の開催

○開催日：令和5年1月12日

○会場：大曲エンパイアホテル

○参加者：32名

○内容：

▷「南極昭和基地から省エネ住宅を考える」

講師 東北ミサワホーム(株)秋田支店 小山悟氏

▷「みんなでつけよう！環境家計簿」

講師 環境家計簿普及アドバイザー 石川篤子氏

⑥あきたエコマイスターNEWS 作成業務

7月と2月の2回、各4,000部発行

(2) 地球温暖化対策に関する人材の育成及び活用支援

①推進員等を対象にした研修会の開催

推進員等を対象とした研修会を次のとおり開催

・基礎研修

研修内容：地球温暖化に関する最近の動向や基礎知識のほか、開催市における温暖化の取組みなど

研修時期：9月

県内3カ所（参加者59名）（北秋田市、大仙市、由利本荘市）

・視察研修

研修内容：県内におけるリサイクル施設及びバイオマス発電施設

研修時期：11月

県内2カ所（参加者28名）

（湯沢市「株式会社湯沢クリーンセンター」）

（秋田市「株式会社ナチュラルエナジージャパン」）

・エキスパート研修

研修内容：推進員等のスキルアップの一環として開催

テーマは「数字で見る食品ロス」

研修時期：11月

県内3カ所（参加者44名）

（大館市、秋田市、横手市）

②推進員等の活用支援

市町村が実施する各種講座等で推進員等の活用が図られるよう、在住の推進員等の活動情報を提供（今年度12市町村）

（3）「環境あきた県民塾」運營業務

「令和4年度環境あきた県民塾」は、7月から12月までの間、秋田市を主会場に開催しました。（座学7講座、体験2講座）

また、今年度からWEBでの受講も可能となりました。

塾生34名のうち、全9講座中6講座以上を受講して必要な単位を取得した22名が修了生として認定されました。

（4）地域の環境活動支援事業

市民団体や学校、児童館、市町村からの要請に基づき、身近なエコ活動から地球環境問題まで幅広い内容の講座に講師を派遣しました。

（派遣回数：36件）

4 地域における地球温暖化防止活動促進事業（JCCCA 補助事業）

（1）「COOL CHOICE」の推進

国が進める地球温暖化防止のための国民運動「COOL CHOICE（＝賢い選択）」に関する普及啓発活動及び賛同書の取りまとめを行いました。

（賛同書数 企業・団体：9、個人：548名）

（2）環境学習・講演会の開催

大館市において推進員が中心となり市民や保育園関係者を対象に温暖化やSDGsについての学習会を開催したほか、秋田市においてセンター職員が高校生を対象に温暖化による農業への影響についての学習会を実施しました。

また、地球温暖化の影響を顕著に受けているキリバス共和国の現状について、現地の事情に詳しい講師による講演会を湯沢市の2小学校及び秋田市の環境団体を対象に実施しました。（参加者計55名）

（3）推進員・エコマイスターの活動支援

推進員等が講師として実施する環境家計簿や温暖化対策に関する講座に資するため、必要な情報提供や資料作成などの支援を随時行いました。

また、推進員等の活動や環境教育に資する目的で作成したオリジナルの環境紙芝居（2種類）の活用を促進するとともに、子どもたちの食品ロスへの理解を深めるため手作りマグネットの試作を行い、次年度以降の取組み

につなげることにしました。

(4) 環境家計簿の活用

環境家計簿は温暖化防止対策の有効なツールであり、大人向けについては、普及を図るため、その役割を担う環境家計簿アドバイザーを委嘱（現在21名）するとともに、2市において同アドバイザーによる普及活動を行いました。

また、子ども向けについては、「子ども環境家計簿」への取組みの充実を目指した結果、令和4年度は5市（大館市、由利本荘市、大仙市、横手市、湯沢市）の協力を得ながら、42保育園の年長園児713名を対象に実施するとともに、若い世代である保護者の意識啓発にも取り組みました。

(5) 企業の脱炭素化（省エネ）に向けた支援セミナーの開催等

2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、「環境ネットやまがた」と共催の形で、県内3地区において地元の市町村及び商工団体の後援を得ながら中小企業者を対象にしたセミナーを開催しました。

▷秋田会場（8月）▷湯沢会場（12月）▷能代会場（12月）

また、企業の環境経営に資するため、引き続き、環境アドバイザーの無償派遣事業を行いました。

5 脱炭素セミナー開催業務（湯沢市委託事業）

湯沢市からの委託を受け、同市を会場に脱炭素セミナーを開催しました。

(1) 企業向けセミナー（令和4年12月）

講演：「脱炭素社会のサステナブル経営と地域の未来」

講師：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）フェロー

東京大学教養学部 客員教授 吉高まり氏

(2) 行政向けセミナー（令和5年1月）

講演：「環境のピンチをまちづくりのチャンスに変える！

～自治体が押さえるべきポイントと実践例～」

講師：公益財団法人 地球環境戦略研究機関

サステナビリティ統合センター 上席研究員 藤野純一氏

6 環境あきたエコ活動支援助成金事業（県補助事業）

県からの補助を受け、NPO等の民間団体が行う自主的な環境保全活動に助成する事業を実施しました。

【内容】

○助成対象 8 団体

○助成金額 1 団体当たり 173 千円～300 千円 計 2,041 千円

○各団体の事業の主な内容

- ・SDGs と自然との関わりを学ぶ
- ・若者を中心にした環境活動
- ・自然とのふれあい活動
- ・八郎湖集水域の河川の保全活動
- ・船越水道の魚類等の生き物調査
- ・公園の美化とビオトープづくり
- ・街なかホテルの保全活動
- ・桜並木の環境整備活動

7 秋田県認定リサイクル製品展示 PR 事業（県委託事業）

秋田県認定リサイクル製品について、広く県民等の関心を高めるとともに認定事業者の販売促進につなげるため、各地の展示場などに出展しました。

（出展会場等）

- ・11月1日（火）……………横手市交流センター「Y2ぷらざ」
- ・11月10日（木）……………大館市北地区コミュニティセンター
- ・12月7日（水）～9日（金）…東京ビッグサイト
- ・1月13日（金）～26日（木）
……………秋田県ゆとり創造センター「遊学舎」
- ・1月28日（土）～2月1日（水）…秋田市にぎわい交流館AU